

【生徒アンケート総評】

●学校運営（1～9）

担任は、毎月1回生徒と懇談を行い生徒の学習・進路などの悩みを聞き適切な指導に当たっている。また懇談以外でも常に生徒と会話し生徒の微妙な変化に対応している。生徒の人権を大切に各学期に1回生徒、保護者から「いじめアンケート」を実施し「いじめ・差別のない」学校作りを目指している。生徒たちはそのことを理解していると思われる。

また、合宿を通して生き方や進路について色々な話をしている。生徒たちは挨拶、返事、礼儀、言葉遣いを身につけることや将来の進路においてしっかりと考え行動しなければならないと受け止めている。

●学習（10～15）

1年生の1学期の授業は中学校の復習を行い、特に国語・数学・英語では基礎基本の学習を実施している。ゴールデンウィークでの宿題（小学校高学年のレベルの国語、算数等）、夏・冬・春休みの宿題（中学1、2年生レベルの国語・数学・英語）では、基礎基本の徹底を図っている。月1回全学年共通問題の「共通テスト」を実施し基礎学力の確認と向上を図っている。生徒は、熱心に共通テストの勉強に励み基礎基本の学習に学校が力を入れていることに理解していると思われる。

●教育指導（16～36）

欠席遅刻防止の取り組みは学校全体で行っているため、生徒の意識に反映されている。中学時代不登校だった生徒が多く欠席しないように話し込み、指導は毎日実施している。また頭髪・服装検査は、毎月曜日に行い、身だしなみをきちんとしようという意識を持つようになった。携帯電話、スマートフォンについては、1年生の早期に取り扱いの説明を行い、登校時に回収、下校時に返却という形を取っており、生徒は理解し協力している。

学校の目標の一つに「全員進路決定」があり、進路活動を充実させている。1年生から企業見学、大学オープンキャンパスに参加させ進路の意識を高めなければならないことは、生徒たちは理解している。

先生全員が、同じ歩調で生徒指導に当たっているかの問いに対しての回答が、あてはまらない・分からないが半数となっている。学年主任の注意と担任の注意とでは明らかに違ってくる。生徒はその辺りが理解できないと思う。しかし、この回答を真摯に受け止め日々の指導に工夫と改善しなければならない。

●学校生活（37～43）

令和4年度はコロナ感染防止対策を講じながら、文化祭・体育祭を短縮縮小しながら実施した。文化祭では、クラスみんなで協力し動画制作に取り組んでいる姿が見られた。どのクラスの発表も友達と仲良く楽しいものであった。

友人関係が良く友達とも楽しく学校生活を過ごしているのに、学校に行くのが楽しいの問いの回答が半数以上が楽しくない・わからないと回答している。これは友達との交流や学校行事は好きだけど勉強が嫌い、イヤだと受け止めればいいのか詳しく分析する必要がある。

●自主活動（44～46）

委員会活動の風紀委員は、毎週月曜日に正装活動、月1回の朝の挨拶運動。美化委員は、毎月の美化週間、大掃除、奉仕活動。副委員長は、キャップ委員となり毎月ペットボトルのキャップ回収と計算。生徒会は、月1回の朝の挨拶運動、オープンキャンパスの手伝いなど活動しているが、活動に参加していない生徒にはそれが分からない。毎年課題となっているクラブ活動の入部人数は、運動部ではどのクラブもごく少数

である。文化部では軽音楽部が5名程度、マインドスポーツ部では10名程度入部し活動に励んでいる。

●環境整備（47～49）

教室は机と机の間隔を広く取りゆったりと授業受けられるようになっている。また教室も整備されている。日々の掃除は、担任が中心に行い「学校を美しく保とう」という意識で生徒を指導し掃除に励んでいる。オープンキャンパス前日、各学期の終業式の日、入試前日には、必ず大掃除を実施し生徒会役員やクラブ部員が掃除に取り組んでいる。教室をはじめ実習室、トイレがきれいとなれば非行防止になるので、学校全体で今以上美化活動に努めている。

●コロナ対策（50～54）

検温、マスクの着用、教室の換気を実践している。検温は、毎月「健康日誌」を配布しその用紙に毎日の検温と体調管理を記入させた。マスクを忘れた生徒には貸し出し着用を徹底した。朝家で検温を忘れた生徒には、学校の玄関ロビーで検温させた。手の消毒は、学校の玄関、各教室の入り口に消毒液を設置し消毒するように指導した。食事前の手洗いを徹底させた。昼食時、はじめの10分間担任は各HR教室に入り、全員前を向いて静かに黙食するように指導した。HR教室・実習室の消毒は、各担任及び教科担当者が行った。生徒たちは教員がコロナ対策に取り組んでいることを理解している。